

2026年3月期 第2四半期決算説明会

2025年11月21日



アジェンダ

- 1 2026年3月期第2四半期 決算概況（連結）
- 2 2026年3月期第2四半期 主要施策の状況
- 3 2026年3月期 見通しについて 代表取締役社長 小林 裕嘉
- 4 2026年3月期 第2四半期決算概況 取締役執行役員
コーポレート分野担当
尾崎 集一

1

2026年3月期 第2四半期決算概況（連結）

決算概況

operating results

(単位：百万円)	2026年3月期 中間期	利益率	前年同期比	2025年3月期 中間期
売上高	23,343	-	9.3%	21,349
売上総利益	5,000	21.4%	9.2%	4,579
営業利益	2,647	11.3%	10.2%	2,401
経常利益	2,756	11.8%	12.9%	2,442
親会社株主に帰属する中間純利益	1,984	8.5%	20.1%	1,652

ハイライト

highlight

- ▶ 当期も各事業分野は堅調に推移し、売上高は計画を上回り増収を達成
- ▶ 販売管理費について、将来の事業拡大に向けた事業投資、人財投資を積極的に拡大するも、増収効果で吸収
- ▶ 技術的難易度の高い新規事業領域への挑戦に伴い、一部プロジェクトで想定以上の工数増加による採算割れが発生するも、増収効果で増益を確保

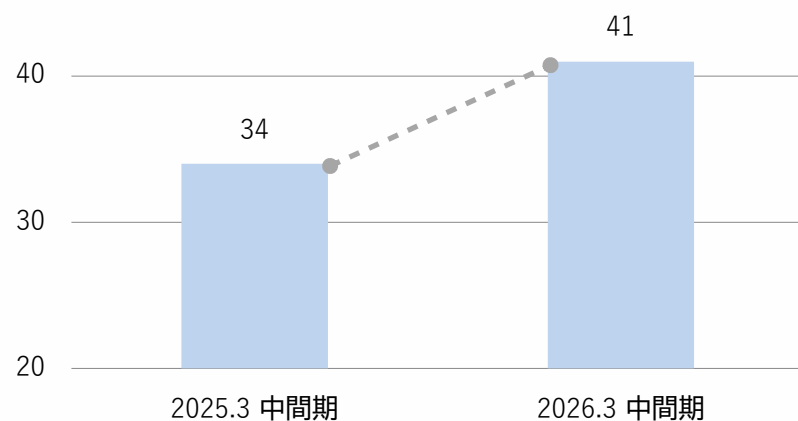


分野別ハイライト

ITコンサルティング&サービス分野

IT Consulting & Services

(億円)



前年比
+18.3%

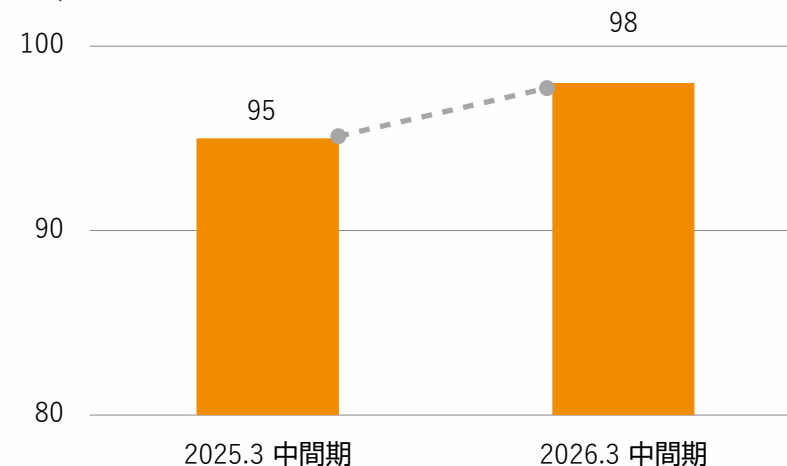
エンタープライズ向けの
SaaSソリューション案件が
堅調に推移



金融ITソリューション分野

Financial IT solutions

(億円)



前年比
+3.0%

特に銀行、保険系の
システム開発案件等が
好調に推移

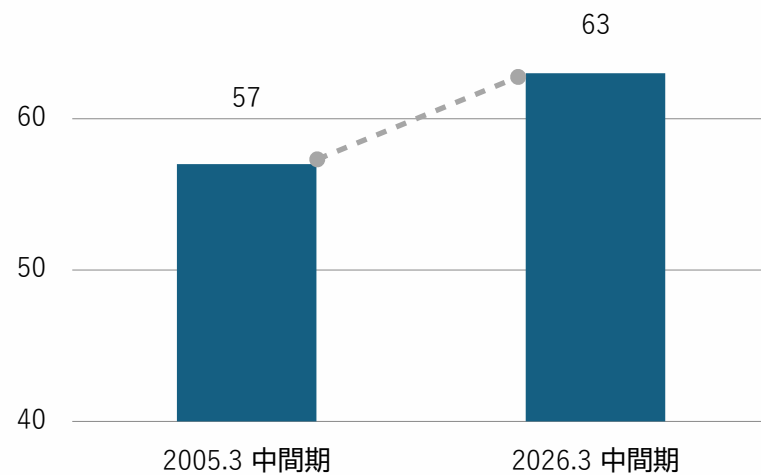


分野別ハイライト

公共法人ITソリューション分野

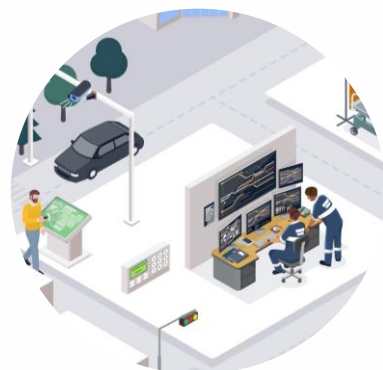
Public corporation IT solutions

(億円)



前年比
+10.6%

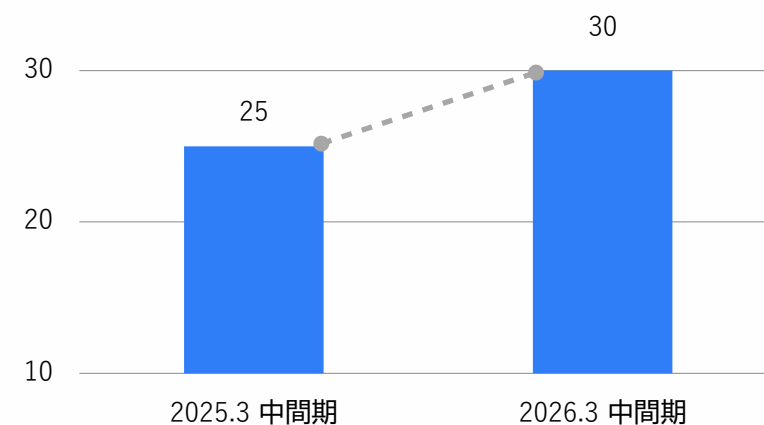
鉄鋼業や官公庁向けの
開発案件等が堅調に推移



プラットフォームソリューション分野

Platform solutions

(億円)



前年比
+17.8%

銀行や保険、運輸事業向けの
インフラ構築案件が堅調に
推移





2

2026年3月期 第2四半期主要施策の状況

Be a Visionary System Integrator

売上高

600 億円

営業利益

62 億円

専門性・知見の多角化と高度化

基本戦略
1

専門性の高い分野をより多岐に
保有し、複雑化する顧客課題への
解決力を高める

×

顧客の価値につなげる提案力の向上

基本戦略
2

要素技術の持つ特性と顧客の状況、
戦略に精通し、ITを顧客の価値に
つなげる提案力を向上

重点戦略と目標とする主な経営指標

重点戦略

事業戦略

- バリューチェーンの深化とオフリングの推進
- 事業別の専門性強化と事業領域の拡大
- グローバルビジネスの拡大

投資戦略

- 先進技術獲得とマーケティング機能を統合した事業投資の推進
- 人的資本の強化
- M&A・アライアンスなど戦略的パートナーシップを推進

人財戦略

- 高度な専門性を持つマネジメント層の強化
- エンジニアリング分野における育成システムの高度化を追求
- 多様な人財の活躍推進と組織エンゲージメントの向上

事業ポートフォリオ

ハイエンドビジネス
事業比率
25 %

コンサルティング
事業
15 億円

製品販売事業
20 億円

業種別ポートフォリオ

金融分野
45 %

法人分野
40 %

公共分野
15 %

配当性向

40 %以上

社員数

2,900 名

KPIの進捗～ハイエンドビジネス～

ハイライト

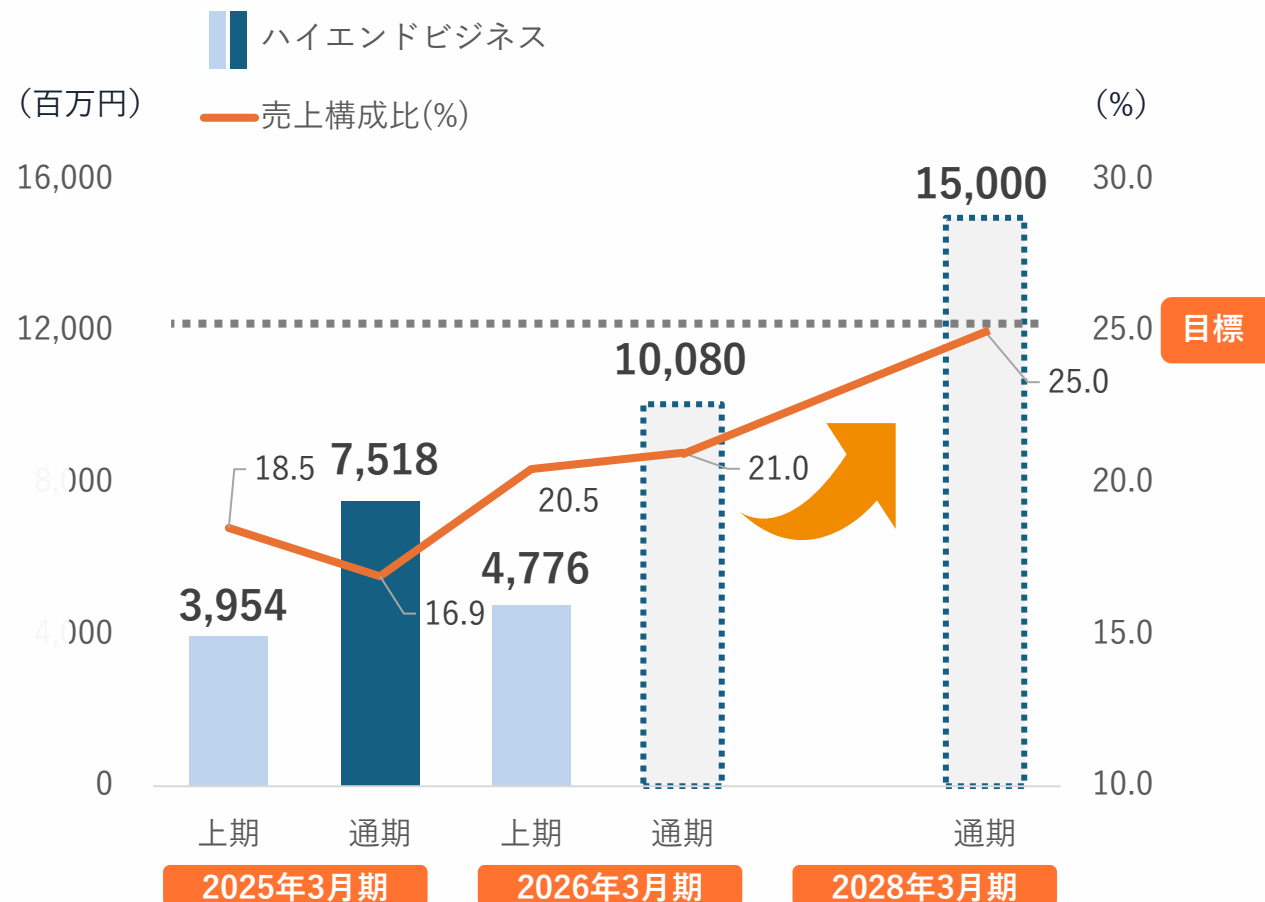
highlight

- ▶ 上流工程のシステム企画や設計等の高度専門技術を要する支援や技術的難易度の高い案件にも積極的に対応し、関連売上は着実に伸長。

ハイエンドビジネス

High end business

- ▶ 市場・顧客動向を的確に捉え、最新のアーキテクチャ設計、セキュリティ強化などの先端技術を活用することで、技術レベルの要求が高いプロジェクトに対応し、高付加価値なサービスを提供。



KPIの進捗～コンサルティング事業～

ハイライト

highlight

- ▶ 昨年度に実施したマーケティング活動等により数多くの新規顧客のリード案件を獲得し、売上は拡大傾向
- ▶ コンサルティング人員を増強の上、さらなる案件取り込みを拡大し、目標売上の達成に向けて引き続き注力

前年同期比
80.0% 増

(百万円)

1,600

1,200

800

400

0

上期

通期

上期

通期

通期

2025年3月期

2026年3月期

2028年3月期

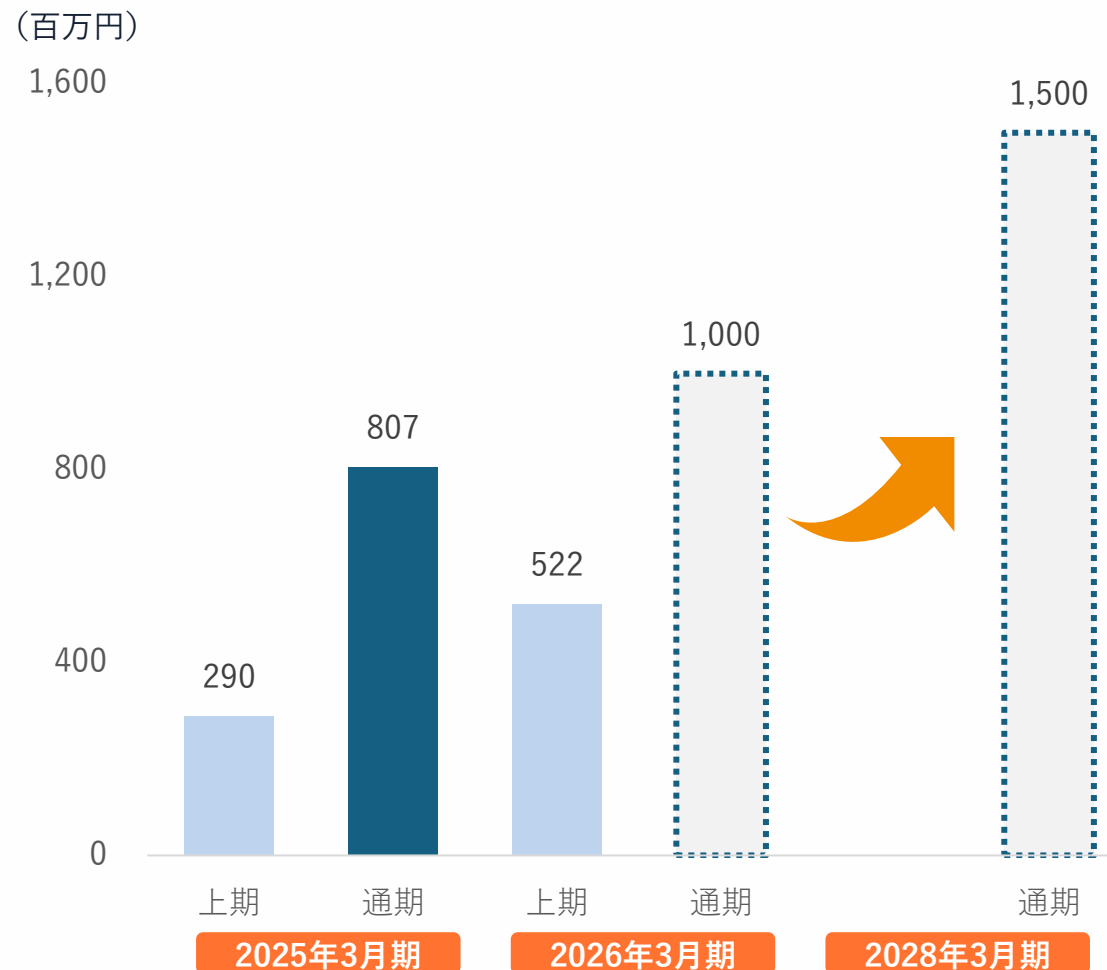
290

807

522

1,000

1,500



KPIの進捗～製品販売事業～

ハイライト

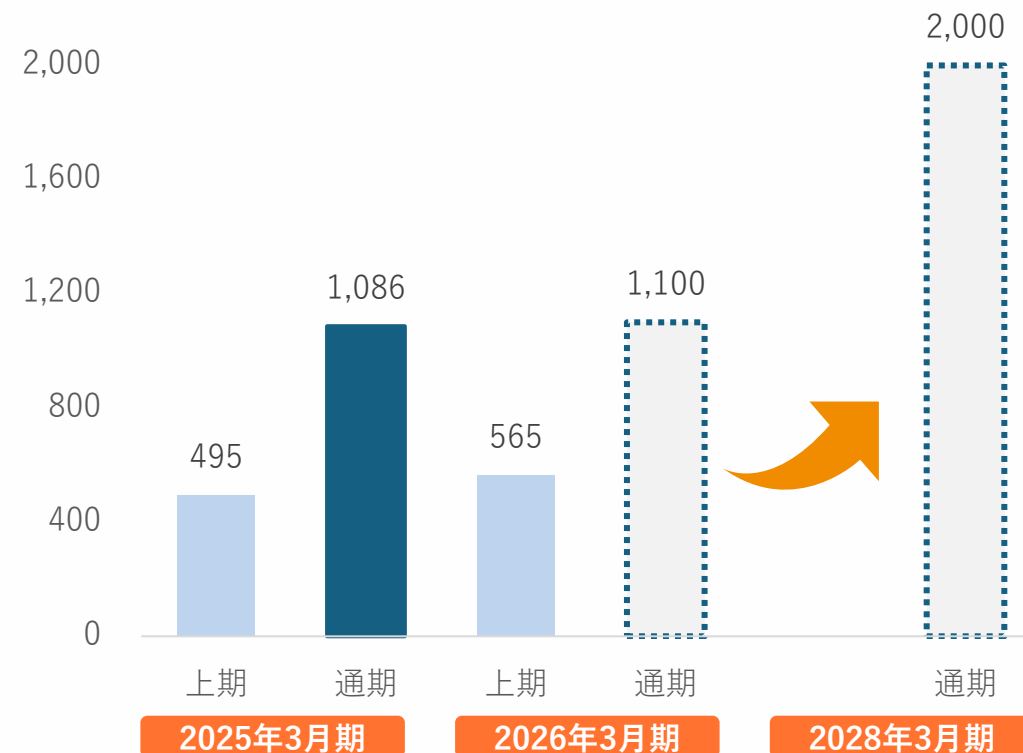
highlight

- ▶ 自社製品やServiceNow等のSaaS、BIツールの販売が拡大
- ▶ 引き続き自社製品・ソリューションの販売拡大に向けてクロスセルやマーケティング等の営業強化に注力

前年同期比

14% 増

(百万円)



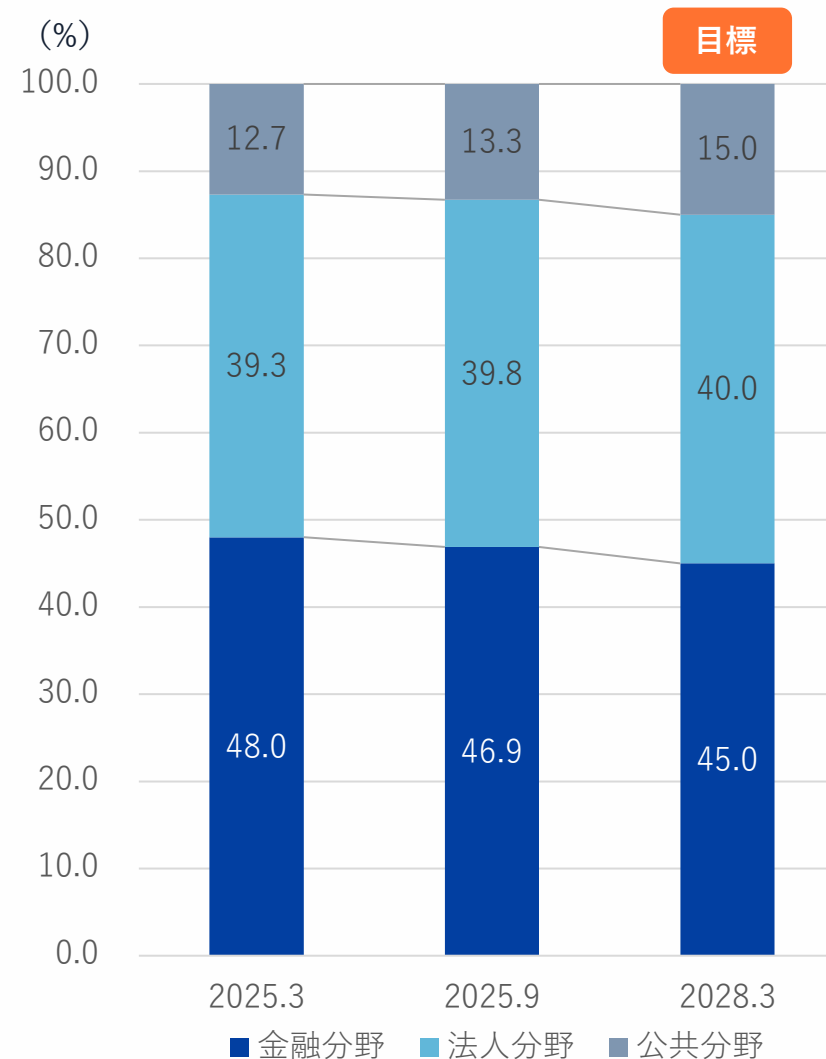
KPIの進捗～業種別ポートフォリオ～

ハイライト

highlight

- ▶ 各業種向けの全体売上は拡大しつつも、中期経営計画最終年度に目標としている業種別ポートフォリオに向けては順調に推移
- ▶ 特に公共・製造業向け売上が堅調に推移

※詳細な業種別売上はP25「顧客業種別売上高概況」に記載



大規模アジャイルフレームワーク『SAFe』に関する当社の取り組み



TDCソフト、ビジネスアジリティを向上させる「SAFe」パッケージを提供

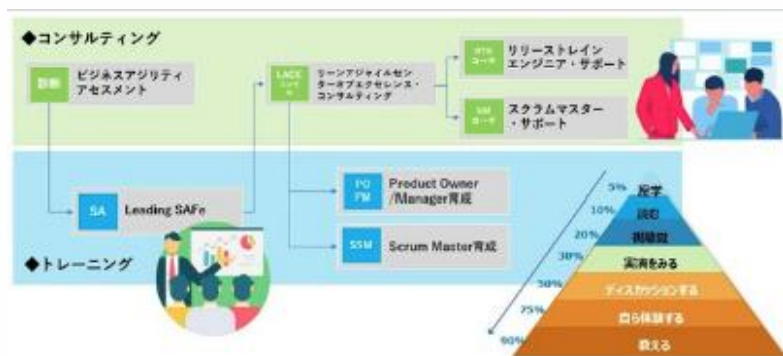
TDCソフトは10月15日、米Scaled Agileが提供する大規模アジャイルフレームワーク「SAFe」の導入から定着までを包括的に支援する新サービス「SAFe パッケージ」の提供を開始した。

TDCソフト、アジャイル開発のコンサルティング/教育サービス「SAFeパッケージ」を提供

デジタルビジネスを加速する専門情報サイト

IT Leaders

TDCソフトは、米Scaled Agileが提供する、大規模組織のアジャイルを推進するためのフレームワークであるSAFe (Scaled Agile Framework) の導入から定着までを包括的に支援する新サービス「SAFeパッケージ」の提供を10月15日に開始した。



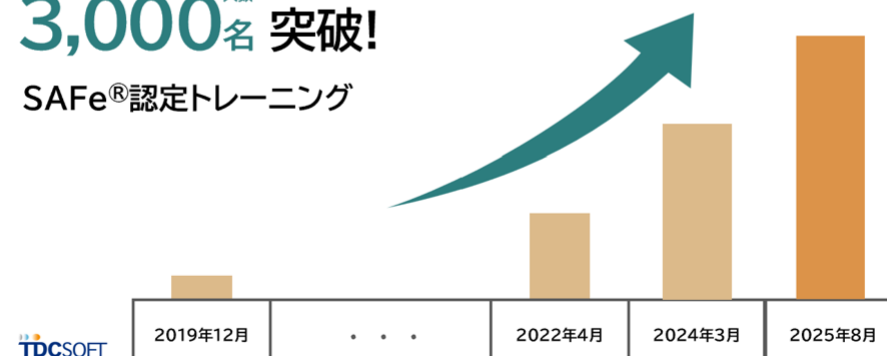
2025年10月15日：プレスリリース

週刊BCN⁺ 法人向けIT市場の最新を追う
ITビジネス情報サイト

TDCソフト、SAFe認定トレーニングの累計受講者数が3000人を突破

TDCソフトは9月9日、米Scaled Agileが提供する大規模組織でアジャイルを推進するためのフレームワークであるSAFe (Scaled Agile Framework) の認定トレーニングで、累計受講者数が8月時点で3000人を突破したと発表した。

受講人数
3,000名突破!
SAFe®認定トレーニング



2025年9月9日：プレスリリース

新マイグレーションサービスの提供およびお客様事例を創出

EnterpriseZine

TDCソフト、UNIX環境で稼働する基幹システムの移行を支援 機能変更なしでクラウドや最新インフラへ

TDCソフトは、「UNIXサーバマイグレーションサービス」の提供を開始した。UNIX環境で稼働する基幹システムの安定稼働と、ビジネス変化への対応を支援するとしている。



TDCソフト、UNIX環境で稼働する基幹システムの移行を支援するマイグレーションサービスを提供

TDCソフト株式会社は18日、UNIX環境で稼働する基幹システムの移行を支援する「UNIXサーバマイグレーションサービス」を提供開始したと発表した。



高品質

多くの実績を持つ自動化ツールを活用し、人的ミスを最小限に、自動化できない作業においても、これまでに蓄積してきた豊富なノウハウを活用して高品質を確保。



低コスト

ソリューション提供元企業のオフショア/ニアショアを活用することで低コストを実現。ソリューション固有のライセンス費用無し。運用コスト削減。



管理負荷軽減

豊富なSI経験に裏付けされる最適化された管理モデルと、お客様と弊社およびソリューション提供元企業の明確な役割分担により、お客様の管理負荷を最小限に。



短期間

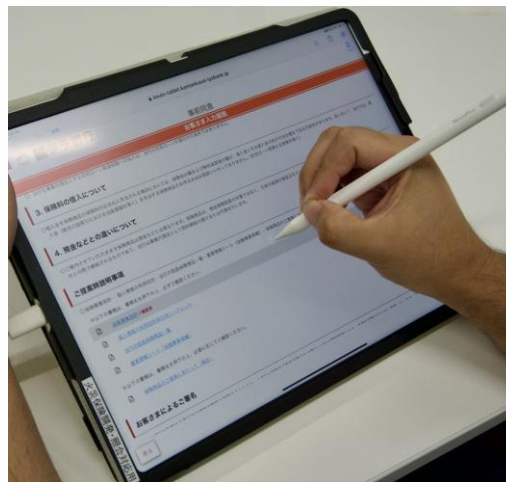
自動化ツール、豊富なマイグレーションノウハウ、プロジェクトマネジメント技術、オフショア/ニアショアの豊富な人的リソースの活用により、短期間での開発を実現。

2025年6月18日：プレスリリース



伊予銀行、住宅ローンと連携したデジタル手続きで顧客体験と営業効率を向上

伊予銀行は「2018年度中期経営計画」を契機にDXを推進し、行員が付加価値の高い業務に集中できる時間を創出してきた。2023年6月、その一環で住宅ローン向け火災保険の申込手続きをデジタル化する「かんたん火災保険システム」を導入した。これにより、従来の紙ベースの手続きを撤廃し、顧客と営業現場双方の負担を軽減。同行が掲げる「Digital-Human-Digital」を軸とする「DHDモデル」の理念を体現した重要なデジタル実装事例となっている。



2025年9月2日：プレスリリース



TDCソフト、西川計測の開発技術標準「LITEC」を策定し、技術支援プロジェクト開始

TDCソフトは9月16日、計測・制御・理化学の専門商社である西川計測に対し、独自開発した開発技術標準「LITEC(リテック)」を策定し、これを土台に技術支援プロジェクトを開始した。同プロジェクトでは、特に生成AI(GitHub Copilot)の活用を焦点を当て、開発プロセス全体の生産性向上と品質強化を包括的に支援する。



TDCソフト、西川計測の開発技術標準を策定し技術支援プロジェクトを開始

TDCソフトは9月16日、計測・制御・理化学の専門商社として、多岐にわたる産業の発展に貢献する西川計測に対し、独自に開発した開発技術標準「LITEC(リテック)」を策定し、これを土台とした技術支援プロジェクトを開始したと発表した。同プロジェクトでは、とくに生成AI(GitHub Copilot)の活用を焦点を当て、開発プロセス全体の生産性向上と品質強化を包括的に支援する。



2025年9月16日：プレスリリース

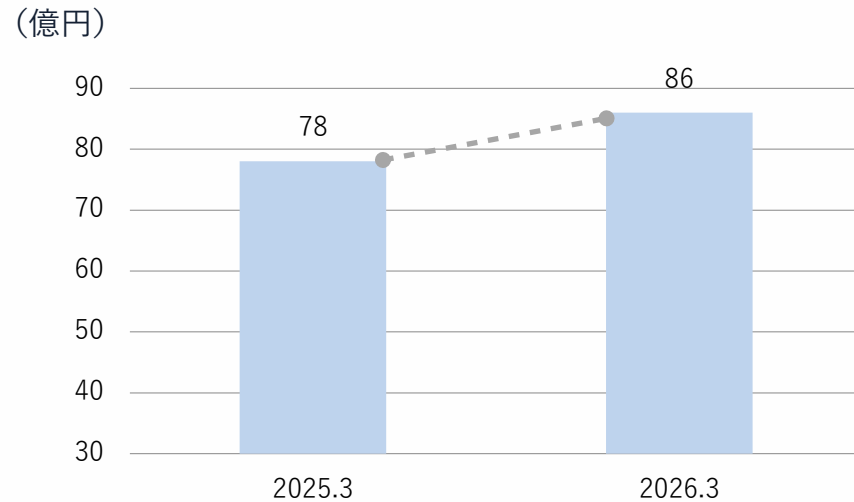
3

2026年3月期の見通し

2026年3月期見通し（分野別）

ITコンサルティング&サービス分野

IT Consulting & Services



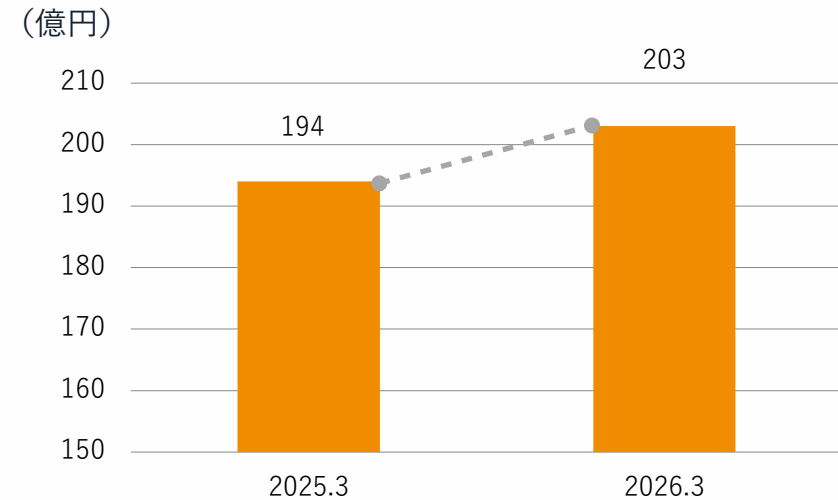
前年比
+10.6%

SaaS、iPaaS等のクラウド系ソリューションが堅調。
さまざまなサービスを組み合わせて
オフリングサービスを展開。



金融ITソリューション分野

Financial IT solutions



前年比
+4.9%

好調なモダナイゼーション需要を
背景にクレジット、銀行系分野を
中心に拡大。

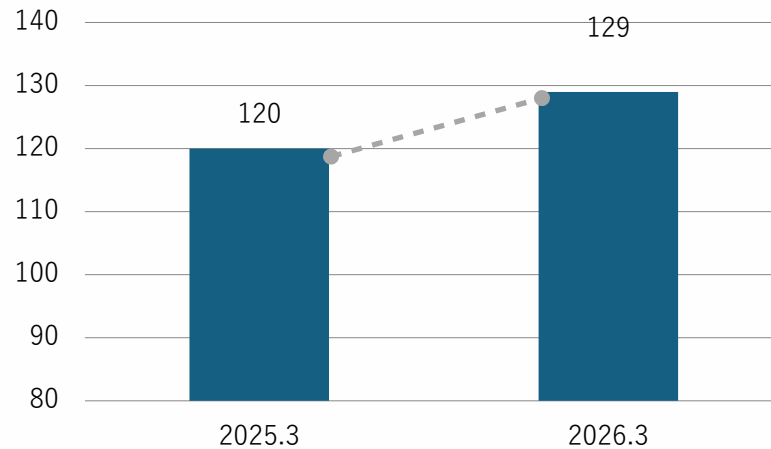


2026年3月期見通し（分野別）

公共法人ITソリューション分野

Public corporation IT solutions

(億円)



前年比
+11.7%

公共系を始めとした社会インフラ需要による大規模案件が牽引。

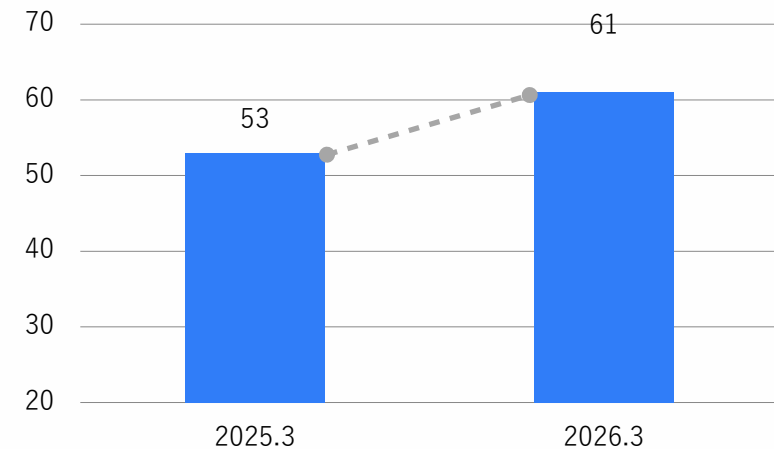
引き続き顧客のパートナーとしてIT・DX構想から支援拡大を図る。



プラットフォームソリューション分野

Platform solutions

(億円)



前年比
+7.8%

クラウドニーズの継続により事業は堅調に拡大見込み。



業績予想および配当予想

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS (円)	配当予想 (円)
通期	48,000 (+8.1%)	5,100 (+6.9%)	5,200 (+6.6%)	3,520 (+2.5%)	74.67	30

- ▶ 事業環境は引き続き堅調に推移する見込みであり、前期比8.1%増収となる見込み
- ▶ 営業利益率10%以上を確保しつつも、先端要素技術の獲得や中期経営計画に沿った専門性の強化などを目的とした人材の確保・育成など、引き続き将来の事業拡大に向けた投資を積極的に取り組む

4

2026年3月期 第2四半期決算概況



財務諸表

Balance sheet



受注高・受注残高

Sales order・backlog of unfilled orders



顧客業種別売上高概況

Sales by Customer Industry



営業利益分析

Operating profit analysis

財務諸表

損益計算書

Profit and Loss Statement

(単位：百万円)	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減率
売上高	23,343	21,349	9.3%
労務費	7,420	6,953	6.7%
外注費	10,404	9,319	11.6%
その他経費	721	667	8.2%
仕掛増減高	△ 204	△ 169	20.3%
売上原価	18,342	16,770	9.4%
売上総利益	5,000	4,579	9.2%
販売費及び 一般管理費	2,353	2,177	8.1%
営業利益	2,647	2,401	10.2%
営業外収支	109	41	167.7%
経常利益	2,756	2,442	12.9%
税金等調整前中間純利益	2,922	2,442	19.7%
中間純利益	1,984	1,652	20.1%
EPS	42.04円	35.06円	19.9%

貸借対照表

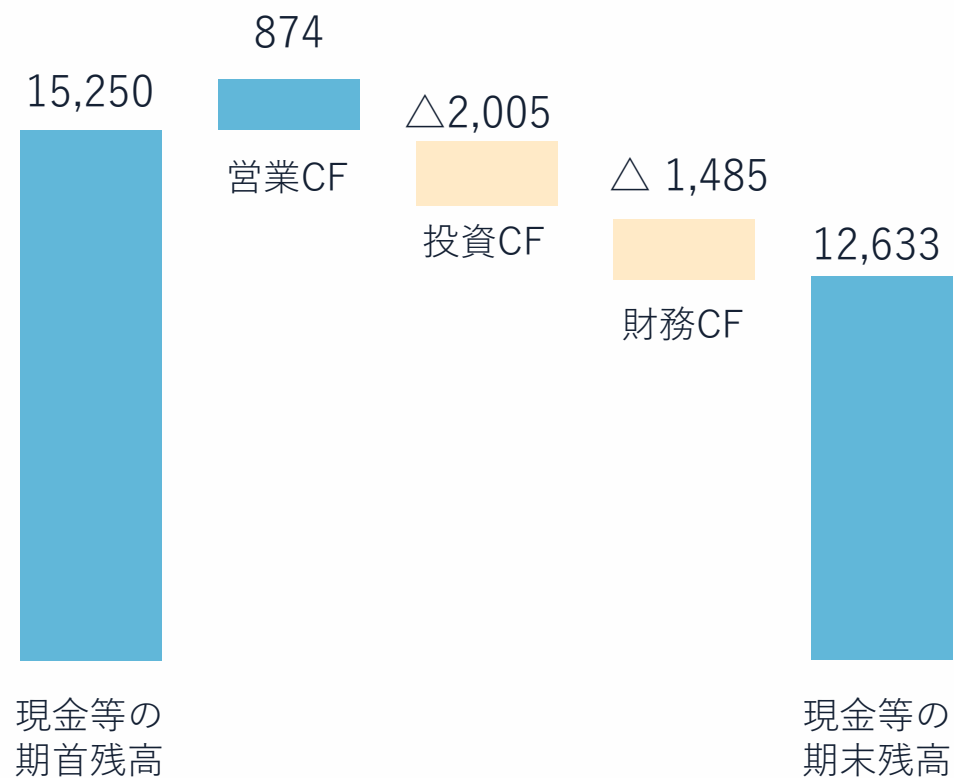
Balance sheet

(単位：百万円)	2026年3月期 第2四半期末	2025年3月期末	増減率
資産合計	28,615	28,287	1.2%
流動資産	22,105	23,248	-4.9%
固定資産	6,510	5,039	29.2%
負債合計	6,680	7,406	-9.8%
流動負債	6,234	6,870	-9.3%
固定負債	446	535	-16.6%
純資産合計	21,935	20,881	5.0%
負債純資産合計	28,615	28,287	1.2%
自己資本比率	76.7%	73.8%	-
1株当たり純資産	463.65	442.98	4.7%

財務諸表

キャッシュフロー計算書

Cash Flow Statement



現金等の期首残高	15,250
税引前当期純利益	2,922
売上債権及び契約資産の増加額	△ 202
その他	△ 1,087
法人税等	△ 759
営業CF	874
有価証券の取得による支出	△ 1,098
投資有価証券の取得による支出	△ 1,203
その他	296
投資CF	△ 2,005
短期借入金の純増減額	△ 186
配当金の支払額	△ 1,292
その他	△ 7
財務CF	△ 1,485
現金等の期末残高	12,633

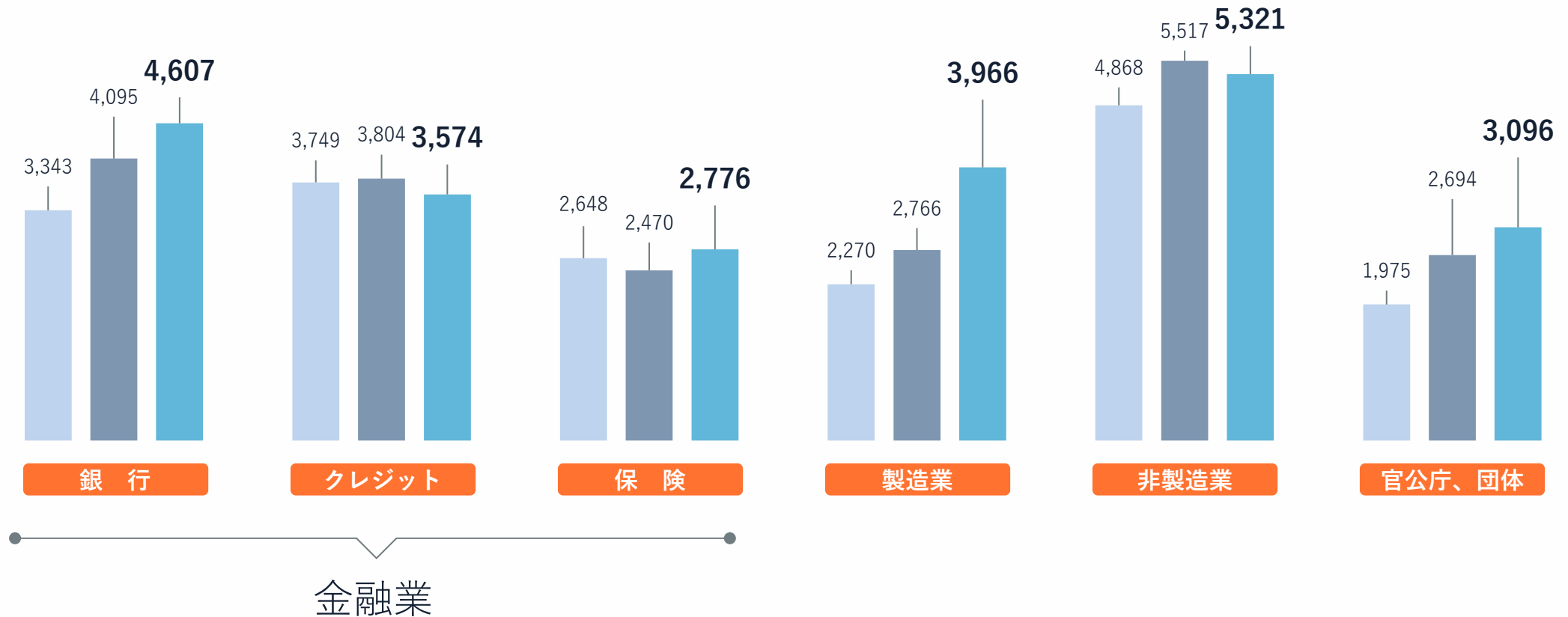
顧客業種別売上高概況

2024年3月期第2四半期

2025年3月期第2四半期

2026年3月期第2四半期

単位（百万円）



受注高・受注残高

受注高

受注残高



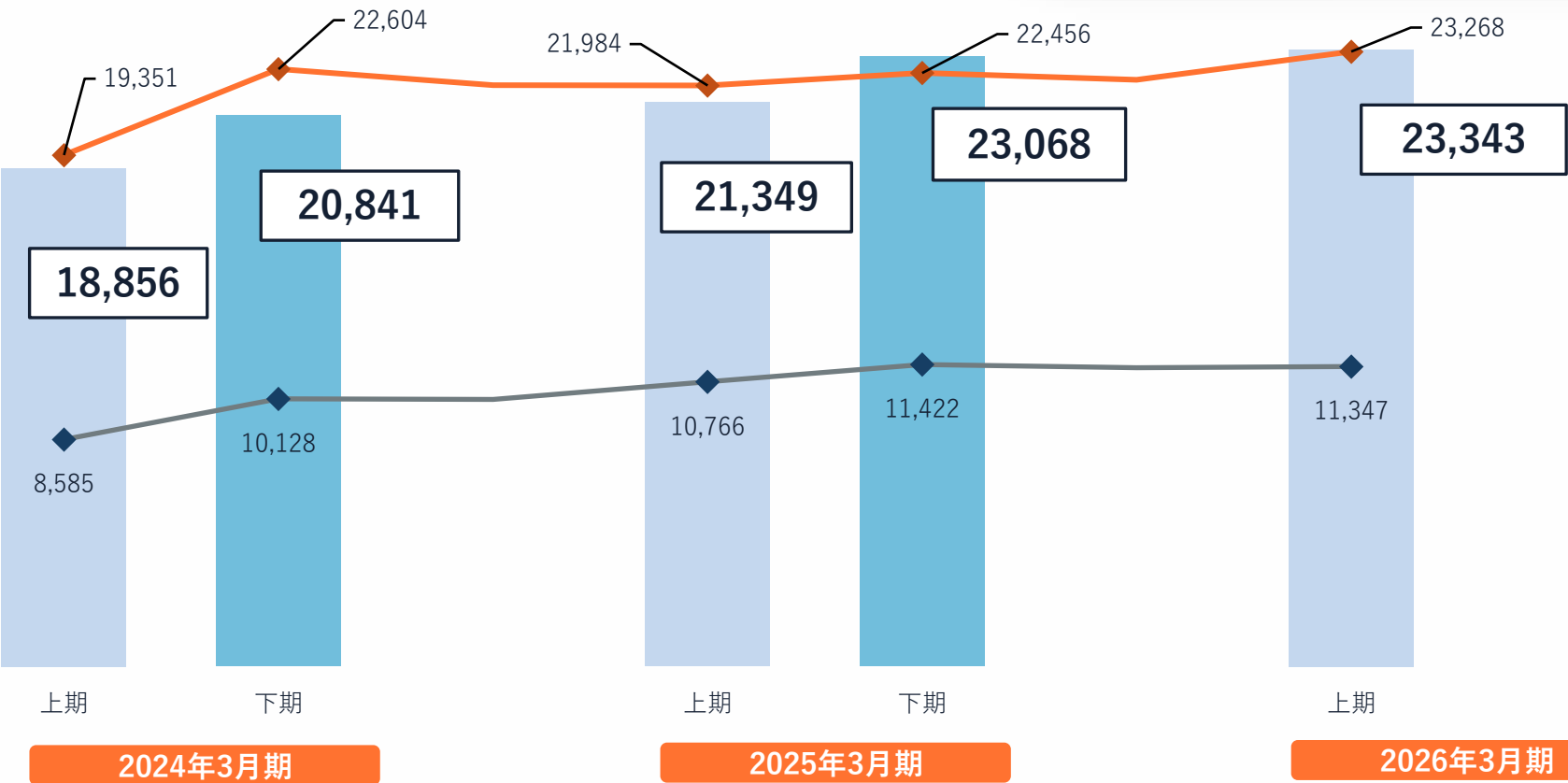
売上高

単位 (百万円)



受注高・受注残高

Sales order · backlog of unfilled orders

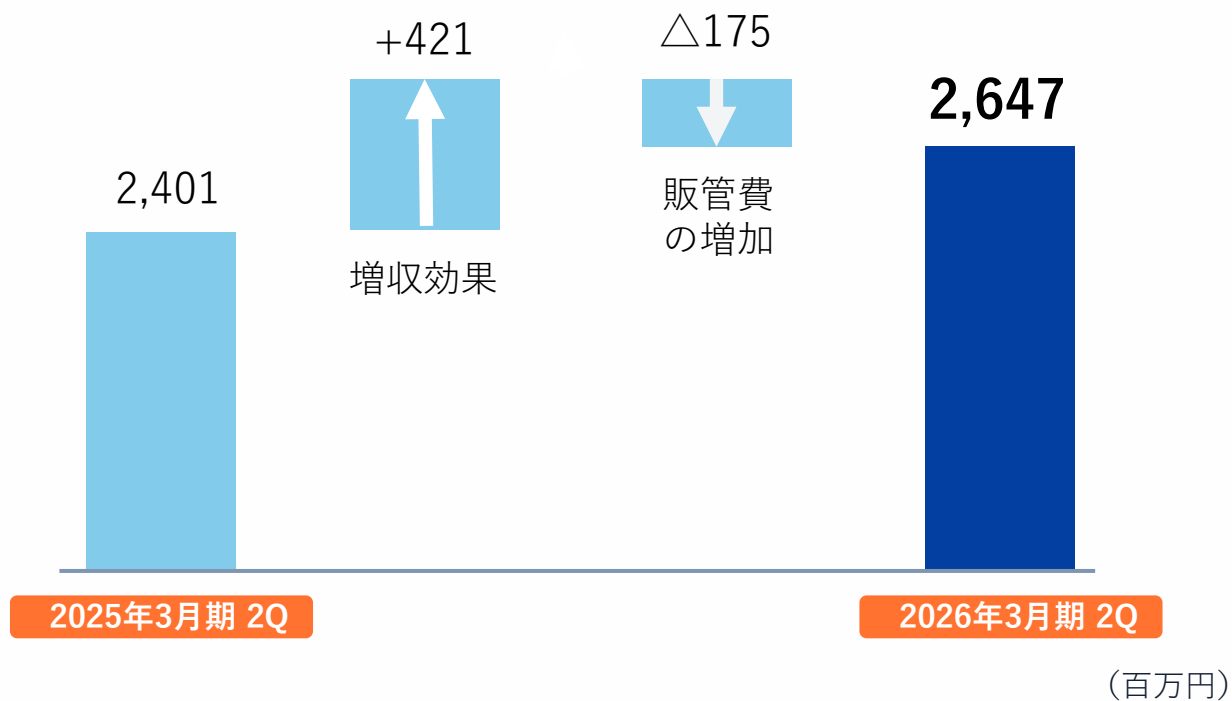


営業利益分析



営業利益分析

Operating profit analysis



粗利益

- 売上高の増加による利益向上
- 利益率は横ばい(21.4%)

販売管理費

- 採用および教育投資の拡大
- 新技術獲得等の事業投資拡大
- マーケティング施策の強化



<https://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。